

# 三郷市立前川中学校

## 中学校A部会

主題名 よりよい社会の実現【内容項目 C 社会参画・公共の精神】

教材名 「次は清掃登山に挑戦だ」(彩の国の道徳「自分を見つめて」)



アンケートを生かすねらいへの方向付け



ウェビングマップを使い意見を整理する



付箋を活用したグループでの話し合い



心のメモリー図を用いたふり返し

## 1 授業者から（「私の授業の観てほしいポイント」の説明、授業についての感想等）

### 【私の授業の観てほしいポイント】

- ①アンケートを活用した導入について
- ②話し合う活動について
- ③ワークシートについて

### 【授業についての感想等】

- 意見を出す生徒は多いが、特定の生徒に限られるため、ワークシート等工夫を取り入れた。
- いろいろな生徒の意見を出すために、グループでの話し合いでグループワークシートを使用した。生徒にとっては初めての活動だが、よく考えて書いていた。



## 2 各グループからの発表（ワークショップ型分科会）

### 【①のポイントについて】

- アンケートを活用した導入は効果的だった。導入から終末まで課題意識がつながっていた。
- アンケートを活用して授業に入ることで、生徒たちがすんなりと課題に入ることができていた。

### 【②のポイントについて】

- 4人グループによる話し合いは、一人一人が意見を言えるため、話し合いやすくてよい。
- 班によっては、考えが深まらないところも見られた。発問を工夫し、考えがまとまりにくい生徒への配慮も必要なのではないか。
- 1人の意見が掘り下げられるのもよいが、グループ活動では多様な意見が出るようにするのがよい。

### 【③のポイントについて】

- 2つのワークシートが工夫されており、生徒の評価にも生かせるようなものになっていた。
- 心のメモリ図は授業前後の心の変容を生徒自身が捉えられるのがよい。



## 3 指導講評

- 協議では、各学校の先生方が活発に意見を出して大変良かった。各学校での実践があるからこそである。
- 本時では、生徒一人一人が自分のこととして考えられた点がよかった。「考え、議論する道徳」とするため、自分の感じ方、考え方を明確にすることや、多様な感じ方や考え方を交流することが大切であるが、まずは自分の考え方をきちんともつことが大切である。
- 生徒の実態を捉えるうえでアンケートは大切であり、本時でも大変効果的だった。
- ねらいに迫る発問が中心発問であり、中心発問で多様な意見が出るのが、新たな気づきや見方につながる。また、ここをはっきりさせることが評価にもつながる。
- 評価につなげるには教師の道徳ノートづくりも大切である。評価にも工夫を入れてほしい。

